

私たちの実績報告 ～神戸をより良い街へ～

認知症徘徊模擬訓練、全区で実施

認知症徘徊対策については、徘徊模擬訓練の市全区展開、医療介護サポートセンターの市全区設置、認知症初期集中支援チームの市全区配置など認知症対策を推進していくことになりました。
老後も安心して暮らせる街作りに向けて、引き続き福祉の充実に関する提案をしていきます。



金浜模擬 神戸沖堤立地分場

外郭団体への短期貸付金(184億円)を全て解消

年度末に一旦全額を返済させ、翌年度初日に再度貸し付ける「オーバーナイト」という不適切な会計処理が行われていました。
我が会派は、「健全な財政運営を図るため早期に見直すべき」と指摘し、その結果、平成28年度予算で約184億円計上していた当該貸付金は、平成29年度予算で全て解消されました。

「神戸市退職者人材センターの設置」及び再就職規制の推進が決定

市職員OBの外郭団体への再就職に関し、ガイドラインの早期策定など再三にわたり久元市長に提言してきた結果、平成29年6月より「神戸市退職者人材センター」が設置され、再就職に係る業務や再就職規制の推進が行われることとなりました。
これにより、退職者の再就職に関する透明性・公正性をより一層高めるとともに、同センターを介さない在職中の求職活動や再就職のあっせんを原則禁止、市民の疑念を招く恐れのある利害関係企業等への自粛要請が行われます。

民間学童保育の拡充

学童保育所に通えない児童数ゼロに向け、民間学童保育の拡充を要望しました。
学童保育について、平成31年度までに対象を小学6年生まで拡大する事としていますが、受け入れ困難な状況が生じている市内4カ所においては、学童保育の運営事業者を募集し助成を行う事で実施場所の確保を図ることとなりました。

対象学区
(中央区:こうべ小学校区、須磨区:西須磨小学校区、垂水区:垂水小学校区、西区:北山小学校区)

私たちの提案・要望

政務活動費の領収書は原本の提出を！

現行は、コピーでの提出で可となっています。
我が会派としては、領収書は原本提出するべきであると提案しております。



費用弁償を実費精算に！

現行は、本会議や委員会に登庁する際、交通費として一律3,000円～5,000円支給されています。
民間の基準に合わせ、実費精算にすべきであると提案しております。

⇒ 他会派からの理解を得られず現状維持となりましたが、引き続き強く訴えてまいります。

灘区・中央区・兵庫区・長田区	3,000円
東灘区・北区(南部)・須磨区	4,000円
北区(北神部)・垂水区・西区	5,000円

費用弁償の各政令指定都市の状況	
廃止	札幌・仙台・さいたま・千葉・新潟 浜松・名古屋・京都・大阪・堺・岡山
実費支給	川崎・相模原・静岡

兵庫県議会では、平成28年度より費用弁償は廃止になり、実費精算に移行していますが、神戸市会では、まだ実施されていません。

引き続き、強く訴えてまいります



ご意見・ご要望等ございましたら、お手数ですが、下記までお問合せ下さいませ。

中学三年生までの医療費の完全無料化

所得制限の撤廃まで進みましたが、完全無料化に向けて引き続き要望してまいります。

高校までの教育費の無償化

神戸市ではまだ実施されていません。(大阪市では各)

info@kobe-ishin.jp

078-801-1111